バンドン＆釜山　日本人学校と群馬大学学生の交流①報告

～防災絵本から洪水対応を考えよう　群馬大学生による読み語り～

国際交流委員会 企画のご案内 Global Exchange ONLINE Series ①

国際交流オンライン企画①

バンドン ＆ 釜山

（インドネシア）　（韓国）

日本人学校

と 群馬大学生の交流

テーマ

防災絵本から洪水対応を考えよう

群馬大学生による読み語り

大学生と小学生が洪水を経験された人たちからお話を聞いて、洪水をテーマにした防災絵本を作りました。実際に洪水が起こる前から洪水の後の様子、そして地域の暮らしや行事とどう関わっているのかが描かれています。読み語りの後、日本での洪水に対応した知恵や工夫を紹介しますので、みなさん所属自治体の国際や地域での対応や工夫、日本とは異なるお話なども伺う事ができます。

日時

2022 年 1 月 27 日(木)

13:00-13:45

オンライン ZOOM

参加ご希望の方は、前日までに問い合わせ先（伊藤）までご連絡ください。ミーティング ID 等をお送りします。

群大メンバー（GUNMA-U アカウント）で参加してください。

GFL 特別セミナー：GFL 生は参加ポイントを付与します。

バンドン日本人学校（インドネシア）

釜山日本人学校（韓国）

この 10 年近く、本学教育学部を、毎年約 2～3 名の日本人学校には特に数多く渡航し、短期インターンシップで研鑽を積んだ経緯があり、交流協定も締結した学校である。パンデミックにより、往来ができないが、この度、2 校同時にオンラインで交流する企画をした。

防災絵本 語る人

田中麻里（教授 （大学教育学部家政専攻 田中ゼミ・ゼミ）の研究室生による読み語り。

金子夢叶（3 年）です。

大学では、食べ物、服、住まいについて勉強しています。興味があります。好きな韓国のアーティストは TWICE です！

岡田紗佳（3 年）です。

大学では、家庭や生活に関する分野を勉強していて、授業で実践家政法人、その一つです。私は絵本を読むのが好きなので、今回の授業を楽しみにしています。

お問合せ

伊藤隆（国際交流委員会）

itoh@gunma-u.ac.jp

国際交流オンライン企画の案内 Global Exchange ONLINE Series ①

国際交流委員会 企画のご案内 Global Exchange ONLINE Series ①

国際交流オンライン企画①

バンドン ＆ 釜山

（インドネシア）　（韓国）

日本人学校

と 群馬大学生の交流

テーマ

防災絵本から洪水対応を考えよう

群馬大学生による読み語り

大学生と小学生が洪水を経験された人たちからお話を聞いて、洪水をテーマにした防災絵本を作りました。実際に洪水が起こる前から洪水の後の様子、そして地域の暮らしや行事とどう関わっているのかが描かれています。読み語りの後、日本での洪水に対応した知恵や工夫を紹介しますので、みなさん所属自治体の国際や地域での対応や工夫、日本とは異なるお話なども伺う事ができます。

日時

2022 年 1 月 27 日(木)

13:00-13:45

オンライン ZOOM

参加ご希望の方は、前日までに問い合わせ先（伊藤）までご連絡ください。ミーティング ID 等をお送りします。

群大メンバー（GUNMA-U アカウント）で参加してください。

GFL 特別セミナー：GFL 生は参加ポイントを付与します。

バンドン日本人学校（インドネシア）

釜山日本人学校（韓国）

この 10 年近く、本学教育学部を、毎年約 2～3 名の日本人学校には特に数多く渡航し、短期インターンシップで研鑽を積んだ経緯があり、交流協定も締結した学校である。パンデミックにより、往来ができないが、この度、2 校同時にオンラインで交流する企画をした。

防災絵本 語る人

田中麻里（教授 （大学教育学部家政専攻 田中ゼミ・ゼミ）の研究室生による読み語り。

金子夢叶（3 年）です。

大学では、食べ物、服、住まいについて勉強しています。興味があります。好きな韓国のアーティストは TWICE です！

岡田紗佳（3 年）です。

大学では、家庭や生活に関する分野を勉強していて、授業で実践家政法人、その一つです。私は絵本を読むのが好きなので、今回の授業を楽しみにしています。

お問合せ

伊藤隆（国際交流委員会）

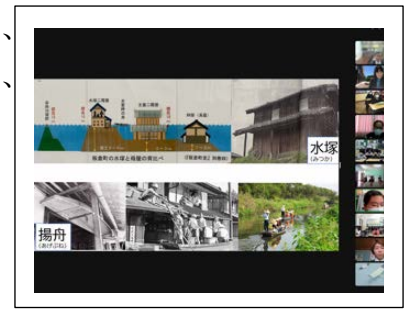
itoh@gunma-u.ac.jp

〈防災絵本に関するクイズ〉

読み語り後、分かりにくい部分を解説したのち、防災絵本に関するクイズを金子が務めました。クイズでは、避難後に人々が食べたものとその工夫について触れ、現在の防災について紹介しました。子どもたちは、クイズに積極的に参加してくれ、大変盛り上がりました。

〈日本での洪水に対応した知恵や工夫を紹介〉

クイズの後、日本での洪水に対応した知恵や工夫として、板倉町の水場文化の紹介を岡田が務めました。板倉町では、古来より、オオミズの害と益を受けながら、生活を営むための様々な工夫があります。その例として、「水塚」と「揚舟」の話をいたしました。我々が住んでいる地域の工夫に伝えると、子どもたちも現在住んでいる国や地域での対応や工夫について目を向けてくれました。



〈子どもたちから読み語りの感想を聞く〉

活動の最後に、子どもたちが感想を発表してくれました。たくさん手が挙がり、多くの感想を聞くことができました。子どもたちは、防災絵本の内容について述べてくれたり、住んでいる地域や国の自然災害や防災の状況を紹介してくれたりしました。子どもたちが住んでいる地域や国では、自然災害は少ないと認識しているらしく、防災絵本の内容や日本での工夫を知ることができて、大変勉強になったという発言が聞かれました。また、今回の活動を機に、防災についてもっと調べてみたいという声も聞かれました。その後、参加いただいた先生方からも、今回の企画についてご講評をいただき、閉会となりました。

〈企画を担当した学生の感想〉

バンドンと釜山の学校との交流では、私は防災絵本の読み語りを担当いたしましたが、子どもたちがとても熱心に話を聞いてくれました。読み語りの内容に関するクイズに積極的に答えてくれたり、授業の感想をたくさん出してくれたりする子どもたちの様子を見て、他の国に住む子どもたちと交流をする企画に携われてよかったと思いました。

子どもたちの振り返りを拝見させていただきましたが、今回の交流を通して、子どもたちが自然災害に興味を持って調べ学習している様子が見てとれました。少しでも子どもたちの視野を広げるきっかけとなったのが、嬉しく思います。また、他の国の防災文化を知ることができたという点で、私も大変勉強になりました。子どもたちから話を聞く中で、他国での災害に対する意識を感じることができました。日本とは異なる地理条件だと、災害に対する意識も変わってくることは頭では分かっていましたが、ここまで違いがあるの

だと実感できたのは、とても良い経験となりました。今回の経験を受け、国際交流の重要さを改めて感じることができました。他の文化を知ることで、新たな視点に気付くことができ、視野が広がります。少し心理的ハードルがあって、今まで国際交流の企画には関わってきませんでしたが、とてももったいないことだったと思います。今回の企画に携わって、今後積極的に関わっていきたいと強く感じました。その際に、自国の文化について話すことができることはとても大切なので、私自身、日本の文化をもっと深く勉強していきたいです。

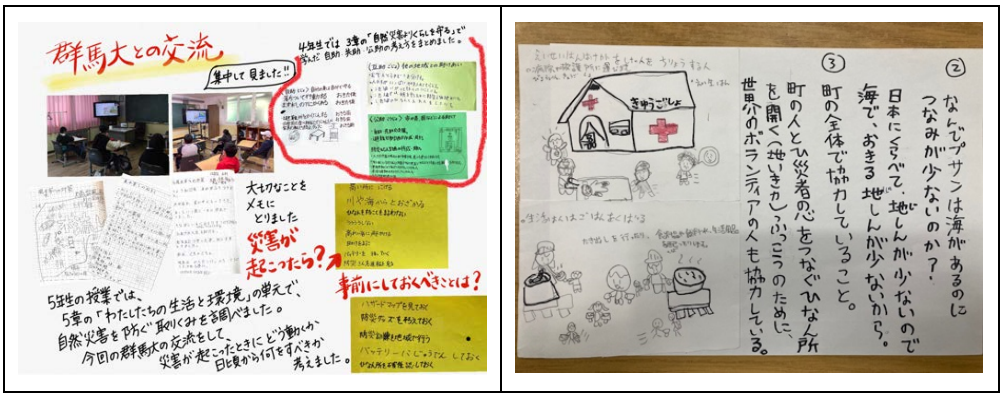
群馬大学教育学部３年　岡田紗佳

今回の読み語りが、日本人学校の皆さんにとって、防災について興味を持つきっかけになったことを嬉しく思います。後日、内容について調べ学習をした様子は、しっかりと拝見させていただきました。皆さんなりに関心や考えを深めている様子は、未来に伸びていく存在として頼もしく感じられました。気候変動と共に生きていく私たちにとって、被災は誰にとっても他人ごとではありません。今回知ったこと、調べたこと、考えたことが、より良く安全な生活に繋がっていくことを願っています。

読み語りを計画するにあたりカリキュラムや指針が無く、対象年齢が幅広い中での実践は大変難しかったです。しかしそういった条件がワークショップ的学びや合理的配慮について考えるきっかけとなり、私たちにとっても、大変勉強になりました。勉強というと堅苦しいような印象を持ちがちですが、絵本やクイズで楽しく学ぶことも、自立学習や調べ学習の導入として有効であると手ごたえを感じることができました。

群馬大学教育学部３年　金子夢叶

〈終わりに〉

後日、子どもたちが読み語りをしっかりと聞いてくれたことが分かる学習記録シートや、より深く防災について調べてくれたことが分かる学習記録シートを送っていただきました。

今回の交流企画が子どもたちの学習の幅を広げるきっかけとなったのではないかと思います。また、企画をいたしました田中研究室の私たちも学ぶことがたくさんありました。このような企画が今後も続いていってほしいと思います。